



菊づくり三十五年

玄関までの道のそばには、二十鉢ばかりの、つぼみをつけたみごとな懸崖(けんがい)が並び、三百坪もある庭には、菊やありとあらゆる盆栽、ガラス温室と緑がいっぱい。

玄関までの道のそばには、二十鉢ばかりの、つぼみをつけたみごとな懸崖(けんがい)が並び、三百坪もある庭には、菊やありとあらゆる盆栽、ガラス温室と緑がいっぱい。

西窓にお住まいの山本好和さんは、知る人ぞ知る盆栽、特に菊づくりの名人。過去に新品种をつくりたり、各大臣賞の受賞(講師や審査員なども歴任してきました)。現在は、公民館活動の盆栽教室で増やせ、好きな酒をくみかわすらやましい催しを毎年くり返しています。

菊が見ころになると友だちなどに手入れされ、四日ごろからの鑑賞期間に備えています。

菊を見ころになると友だちなど

を倍増させ、好きな酒をくみかわすらやましい催しを毎年くり返しているとのこと。

菊は見ごろになるといろいろな所へ引き取られ、よろこばれています。

「商売気がなくて」と笑う山本さんですが、好きな人には差し上げますというように知人や

各施設への寄贈も続けてきました。このあたり、菊ひとつずじの品

を増やせ、好きな酒をくみかわすらやましい催しを毎年くり返しています。

菊を見ころになると友だちなど

を倍増させ、好きな酒をくみかわすらやましい催しを毎年くり返しています。

南国歌壇

南国柳壇

南国俳壇

失明の不安いだきて怨の星
みえなくなりし眼をしばたたく
浜改田 清水愛川
み 三人の孫の競技見つむる
西島 岡林きよ
若き等にすべてを委ね安らぎつ
か細き両手掬ふ伴せ
三島 小笠原綾子

議員さん、安芸市と熱戦

そころ・中央公民館
内容・贈答品 野菜・花・衣類、オモチャ、手作りのもの、その他いろいろ(即売)

◆連絡先・共同保育所「コスモス」
モス」^③5788まで。

□とき・11月23日(日)
10時から2時まで

安芸、南国両市の議員さんによ
る「親善ソフトボール大会」が十
月十七日、鳶ヶ池グラウンドでな
ごやかに開かれました。

この試合は、今年五月安芸市に
招待されたことの「お返し」で、
二回目の試合。

安芸チームが22対17で打ち勝ち、
対戦成績は一勝一敗となりまし
た。

前回逆戻負けをした安芸チーム
は、「今度こそは」と小原正久議
長以下、金賛が気合い十分。試合

前の練習をみても、今度は南国の
敗戦確実かと思われましたが、試
合が始まると南国チームが大健闘

し、好ゲームを展開、地力に勝る
ところです。

ところで、安芸・南国といえば、
両市は現在、「歴史公園」誘致合
戦を展開中。試合後のこん親会で

あまり話題にのぼらなかつたそ
うですが、こちらの方の「勝敗」
はどうなるか?注目されます。

け、もみのりをふる。

めのり

いいですが、炊き込みにすると
子どもにもきっと喜ばれると思
います。一度おためしください。

◎材料(四人分)
米 150g 200g
酒 大さじ2
大きさじ2
大さじ3
しょうゆ

水 4カップ弱

◎作り方
①米は洗つておく。
②カキは塩をふって、手早く洗
い、ザルにあげる。

③釜に米、カキ、水、酒、しょ
う油を入れ、ふつうに炊く。

④炊きあがつたら10分ほどむら
し、上下をませ合わせて盛りつけ、
もみのりをふる。

けません」という言葉が印象に残
ります。

位 みたいなものがうかがえます。
うれしいことは「」の問い合わせ
ています。

今は、雨や温度(冷夏)の関
係でややつくりにくいということ
ですが、大輪三百鉢、懸崖六千鉢、
小菊の盆栽づくり五十鉢がみごと
に手入れされ、四日ごろからの
鑑賞期間に備えています。

菊が見ころになると友だちなど
を倍増させ、好きな酒をくみかわ
すらやましい催しを毎年くり返
しています。

菊を見ころになると友だちなど

を倍増させ、好きな酒をくみかわ
すらやましい催しを毎年くり

第20回 南国市展

11月23日から8日間

一般の部搬入は11月18日



第20回「南国市展」の日程、出品規定などが決まりました。

今年は、11月23日(土)～11月30日(日)までの8日間、市民体育館で開かれます。

搬入は、一般の部が11月18日、児童・生徒の部が11月5日。多くのみなさんの出品をお待ちしています。

《一般の部》

□出品部門

洋画、日本画、漫画、書道、彫塑・工芸、商業美術、写真の7部門

□審査員

洋画=筒井広道 日本画=小松豊栄 漫画=平山昌幸 書道=松岡良峰 彫塑・工芸=井戸頼夫 商業美術=仲隆三 写真=田口吉明、高芝晴喜

□出品資格

南国市に住んでいる人、また通勤、通学している人。

□搬入日

11月18日(火)午前10時から午後7時まで。

□搬入場所

市民体育館

□審査日

11月19日(水)

□出品手数料は無料です。

写真は、四ツ切以上全幅までのワク張りに限る。書道では、ガラス張りは全紙以下の作品に限る。また所定の用紙に階書で記入をそえること。

以上のほか、出品作品の規格、その他は原則として各部門を通じて大きさなどは制限しないが、会場の都合や会場にふさわしくないものについては制限することがあります。

《児童・生徒の部》

□出品部門

図画の部(絵画、版画) デザイン・工作・彫塑の部(平面デザイン、立体デザイン・工作・彫塑)

習字の部(毛筆、条幅、硬筆・ペン字) 写真的部

11月の行事

- 12日・中央高齢者教室『別府峡へ移動学習』(市役所8時半集合)
- 南国市合同慰靈祭(市民体育馆、1時～)
- 13日・文化財講座『田村遺跡群現地をたずねて』(1時半現地集合)
- 14日・小中学校連合音楽会(市民体育馆、9時～)
- 16日・県下南国柔道大会(市民体育馆、9時～)
- 19日・日本画教室(市役所第2会議室、1時～3時半)
- 22日・俳句教室(市役所第2会議室、1時半～4時)
- 23日・南国市展(30日までの8日間、市民体育馆で、搬入は18日)



國 保 稅 (3期)

今月の納税

納期限は12月1日(月)

まで(17日は4時まで)。

場所・南国市農協会館(国道55号北側農協本所)

事務所・南国市共催による「税金の街頭相談所」が、次のとおり開設されます。

税金(国税、県税、市税など)の融資を希望する方は、住宅金融公庫の融資とあわせて申し込みを行いうと資金の融資が受けられます。また、厚生年金・船員保険の被保険者および厚生年金・船員保険と国民年金の交じった被保険者に

ても、住宅金融公庫が融資予定戸数に達して受付を締め切った場合などは同時に締め切られます。くわしいことは、銀行や信用金庫などは同時に締め切られます。

南国市農協の「第三回農協祭」が、次の日程で開かれます。農機具や農産物の展示即売、農産物の品評会、小学生の書道コンクールなどの行事が盛りだくさん計画されています。

第二回「農協祭」

場所・南国市大垣、土曜市会場

日時・11月15日(土)

内容・米の消費拡大運動、きき酒大会、タバコ銘柄

名物産の展示・即売

11月10日(日)9時～4時

場所・市民体育馆

内容・にぎり寿司コートナード大会

11月10日(日)9時～4時

場所・南国市農協会館

内容・米の消費拡大運動、きき酒大会、タバコ銘柄

11月15日(土)

内容・にぎり寿司コートナード大会

11月15日(土)



少年補導センターでは、青少年の非行が大きな社会問題となつてゐるいま、広く市民のみなさんにご意見をいただき、青少年の健全父兄および二十歳未満の労働青少

育成のための基礎資料とするためアンケート調査を実施します。

【少年補導センター】

年齢被保護者の方を中心、十一月中に調査員が「アンケート用紙」をお届けします。

調査対象となられた方々のご協力をお願いします。

年齢被保護者の方を中心、十一月中に調査員が「アンケート用紙」をお届けします。

調査対象となられた方々のご協力をお願いします。

秋も深まり、野山の紅葉がいちだんと美しい季節です。今年は冷夏の影響で、「もみじ」の色づきが例年ほど鮮やかでないようになりますが、ご家族でもみじ狩りに出かける計画もあるうかと思います。

3日は「文化の日」――

わたしたちの郷土南国市は、土佐文化の発祥の地、この誇り高い郷土の文化を見直す日でもあります。

市内

でも、「文化祭」や「市展」が催され、「芸術の秋」本番といつたところです。

また、浜田盛彦さん

(明見)ら5名が、行政や産業経済、

福祉部門で市政発展に貢献があつたとして、第12回市民賞に選ばれ表彰されます。

7日は「立冬」――

暦の上では

いよいよ冬です。

年賀ハガキも上旬には発売になります。

日頃お世話

になっている方々の住所の整理もわざわざしておきましょう。

15日は「七五三」――

子どもの健やかな成長を願わない親はないはず。

交通事故などで悲惨なことにならないよう、われわれ大人の責任は重大です。

また、ハンターにとっては待ちに待った「狩猟解禁」。くれぐれも安全には気を配ってほしいものです。

23日は「勤労感謝の日」――

一一行

業に出かけるのもこの日はひかえ、元気で働く自分の身体をいたわり、仕事に対する情熱をわすれないように明日の英知を養いましょう。

青少年問題アンケート調査にご協力を…

11月

秋も深まり、野山の紅葉がいちだんと美しい季節です。今年は冷夏の影響で、「もみじ」の色づきが例年ほど鮮やかでないようになりますが、ご家族でもみじ狩りに出かける計画もあるうかと思います。

3日は「文化の日」――

わたしたちの郷土南国市は、土佐文化の発祥の地、この誇り高い郷土の文化を見直す日でもあります。

市内でも、「文化祭」や「市展」が催され、「芸術の秋」本番といつたところです。また、浜田盛彦さん(明見)ら5名が、行政や産業経済、福祉部門で市政発展に貢献があつたとして、第12回市民賞に選ばれ表彰されます。

7日は「立冬」――

暦の上ではいよいよ冬です。

年賀ハガキも上旬には発売になります。

日頃お世話になっている方々の住所の整理もわざわざしておきましょう。

15日は「七五三」――

子どもの健やかな成長を願わない親はないはず。

交通事故などで悲惨なことにならないよう、われわれ大人の責任は重大です。

また、ハンターにとっては待ちに待った「狩猟解禁」。くれぐれも安全には気を配ってほしいものです。

23日は「勤労感謝の日」――

一一行業に出かけるのもこの日はひかえ、元気で働く自分の身体をいたわり、仕事に対する情熱をわすれないように明日の英知を養いましょう。